

# 会 議 録

(1 / 5)

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回坂戸市市民参加推進会議
開 催 日 時	令和5年5月24日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時00分 閉会
開 催 場 所	坂戸市役所2階201会議室
議長(委員長・ 会長)の氏名	柳澤智美会長
出席者(委員)の 氏名・出席者数	久保彰子委員、矢島秀章委員、相馬洋子委員、 鹿ノ戸健次委員、松林豊委員、島和男委員 計6名
欠席者(委員)の 氏名・欠席者数	0名
事務局職員の 職・氏名	市民部 高山部長、小澤次長 市民生活課 庄司課長、岡崎課長補佐、徳永係長、 戸口主任
会 議 次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 審議事項 (1) 坂戸市提案型協働事業補助金について (令和5年度申請団体のヒアリング) (2) その他 4 閉 会
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 市民参加推進会議名簿</li> <li>・ 席次</li> <li>・ 資料1 提案型協働事業団体ヒアリングについて</li> <li>・ 資料2 令和5年度提案型協働事業申請団体一覧表</li> <li>・ 資料3 坂戸市提案型協働事業補助金交付申請書類</li> <li>・ 資料4 提案型協働事業審査要領</li> <li>・ 資料5 提案型協働事業・採点表</li> <li>・ 参考1 令和5年度提案型協働事業 募集要領</li> <li>・ 参考2 坂戸市提案型協働事業補助金交付要綱</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 ・会長挨拶</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 坂戸市提案型協働事業補助金について 令和5年度提案型協働事業の申請及びヒアリングについて、資料1～5のとおり説明。</p>
事務局	令和5年度提案型協働事業の申請及びヒアリングについて、資料1～5のとおり説明。
委員	今年度は、7件中6件が採択されることとなるが、最低点が複数あった場合は、どのように取り扱うのか。
事務局	第3回坂戸市市民参加推進会議において、提案型協働事業の採択・不採択が審議事項となるので、その際に御協議いただく。
会長	これより令和5年度申請団体のヒアリングを実施する。
	(令和5年度申請団体ヒアリング)
会長	<b>一般社団法人レク寺子屋</b> 提案型協働事業は、今回で3年目となるが、来年以降の展望を教えてほしい。
団体	協働課である市民生活課と調整する予定である。
委員	日本語教室との連携はあるか。
団体	日本語学習支援でボランティアをさせていただいている。また、10月開催の多文化共生フェスにおいて、市内の4つの日本語教室と連携して実施する予定である。
会長	<b>おこちゃマイル</b> 学習面は、どのような計画を立てているのか。
団体	細かい内容は、これから決めていく。子どもにあった内容を考えていきたい。
会長	来年以降の展望を教えてほしい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
団体	<p>地元の自治会から支援する予定である。地域に子ども応援団という組織もあり、その組織の予算と合わせて調整する。また、3月には、製菓会社からも物資の提供があった。</p> <p>子どもたちも食堂を手伝ってくれる。今後も地域のコミュニティを築いていきたい。</p>
委員	<p>課題として若者の協力者が少ないとあるが、確保できそうか。</p>
団体	<p>手伝いたいと手を挙げる人は多くいるが、見知らぬ人がいることで、子どもたちが怖がることのないように、知り合いの方からお願いをしている。</p>
委員	<p><b>ティラピア5</b></p> <p>イベントを準備する際に、リスク管理も必要となる。予定のチケット枚数が売れなかった場合、どのような想定をしているのか。</p>
団体	<p>チケットは、300枚販売する予定である。また、稽古場の使用料など当初の予定より少ない費用で済むため、少しずつ支出面で節約していく。</p>
委員	<p><b>特定非営利活動法人 空き家対策協会坂戸支部</b></p> <p>スケジュールでは、相談会は10月末となっている。それまでの期間は、準備期間ということか。</p>
団体	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>こうした活動は、以前から行っているのか。</p>
団体	<p>令和元年に実施している。</p>
会長	<p>以前、コロナ禍で中止になったこともあった。オンラインなどの対応は検討しているのか。また、参加者を増やすために、どのような周知方法を考えているのか。</p>
団体	<p>Zoomでの開催も検討している。周知については、包括支援の職員に声をかけ、特に高齢者に多く参加してもらえるように考えている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	相談会や個別相談の参加費は、徴収する予定か。
団体	相談会は、無料である。個別具体の相談になった場合は、費用が発生する。
委員	<b>子ども食堂やまちゃん</b> 食中毒の対策は、どのようにしているか。
団体	スタッフの保菌検査及び検食を行っている。
委員	食中毒が起きた時に備えて保険に入っておく必要がある。厚生労働省にある子ども食堂のガイドラインに則り、事故のないよう責任をもって実施してもらいたい。
会長	移動しながらの配食は、斬新であるが、どのように場所を確保するのか。また、どのように周知していくのか。
団体	場所については、模索中である。周知については、地域の力を借り、広めていきたい。 以前、実施した時に50食用意していたが、足りない状態だった。実施してほしいという地域の声も上がっている。
委員	<b>SDG s 坂戸ふれあい食堂</b> 子どもや高齢者が喜ぶようなメニューを検討してほしい。特徴のあるメニューがあると市の宣伝にもなり、地域の活性化に繋がる。 様々な機関とコラボレーションするなど、事業の幅を広げる検討はしているか。
団体	メニューについては、地域の野菜や季節ものの食材を使い、献立を考えている。今後、看護学校の生徒を研修生として受け入れる予定であり、医療に繋げたメニューも考えていきたい。 人材面では、大学生がスタッフとして、イベントの企画、実施をしている。大学の先生にも呼びかけている。社会福祉協議会から学生のボランティア募集をしてもらっている。
会長	<b>親子応援ネットワーク Smile</b> スタッフの確保はどのように対応しているのか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
団体	令和元年、2年にイベントを実施し、その際に20人程度のグループを作っている。無理なく都合のつく時に集まっている。
委員	地域食堂と地域応援 Smile フェスは、いつから実施しているのか。また、実施していた時は、どの年代層が参加していたか。
団体	地域食堂は、今回が初めてである。地域応援 Smile フェスは、親子応援イベントとして令和元年、2年に実施している。イベントの参加者は、親子や小中学生、祖父母世代が多かった。
	(ヒアリング終了)
事務局	<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の市民参加推進会議開催について 6月22日(木)午後2時の予定。</li> </ul> <p>4 閉会</p>